

Tsuda Airi PORTFOLIO graphic design

2023 - 2024

About me



津田愛里

TSUDA AIRI

2004年7月1日生まれ 奈良県出身

大阪デザイナー・アカデミー グラフィックデザイン学科

色彩士検定 2級 3級

Adobe Illustrator / Adobe Photoshop

展示・活動歴

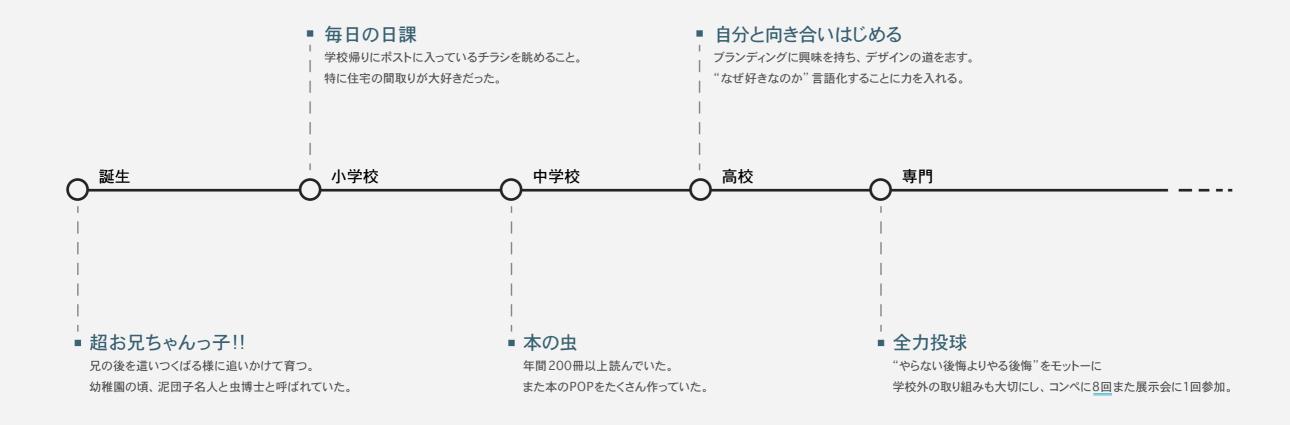
2023

- ・TOPYS The 7th テキスタイル 佳作
- ·SDGs「誰ひとり取り残されない」 優秀作品賞

2024

- ·BILLIKEN CREATORS OSAKA 2024 出展
- ・アドビ認定プロフェッショナル デザインコンペ 2024
- ・子ども虐待防止 オレンジリボン運動 公式ポスターコンテスト2024
- ・2025年 巳年 年賀状デザイン
- ・令和6年度 赤い羽根共同募金記念バッジデザイン
- ・ありそうでなかったピクトグラム!
- ・透明枠練り石鹸「kahogo」 パッケージデザイン





MOTTO

何事も自分次第

小学5年生の頃から ずっと掲げている私の生きる上の目標

HOBBY

セルフネイル

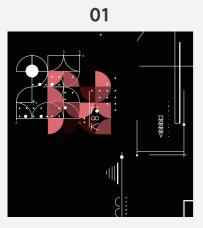
自分だけのデザインで指先を彩ると 今日も頑張ろうという生きる活力になる

CHARACTERISTIC

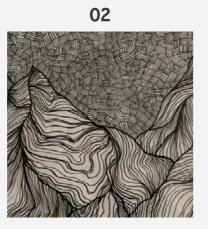
尽きない原動力

達成感が行動の原動力になるので 常に何かをしており止まることを知らない

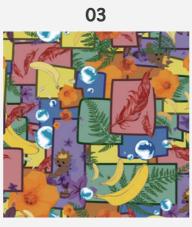
Contents



Poster



Pen



Textile



Package



Typography



Self Introduction



Poster



Magazine



Postocard

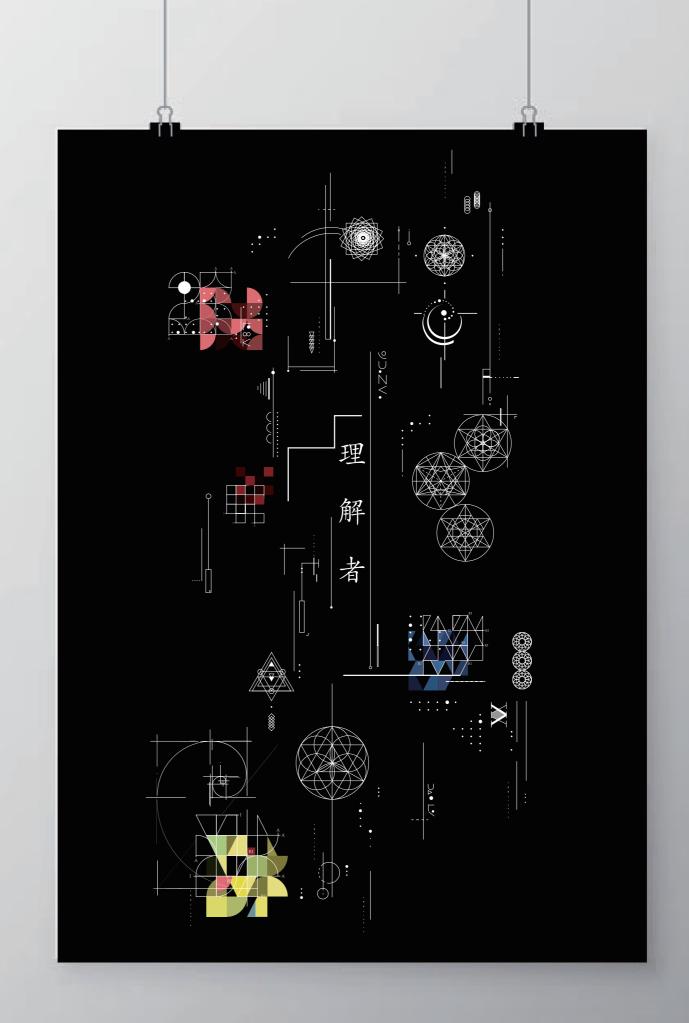
Poster Design

HOW DO YOU DEAL WITH YOURSELF

自分を表すグラフィック

私が思う「自分とは何か。」を 進級課題を通して、目一杯表現した。 それぞれの感性で自由に感じてほしい。





02

03

(05)

自分の要素を絞る

これでもかというほど、自分という人間 について向き合った。その結果、ふ たつの要素に絞ることできた。



芯の強さから→自分を持っている→ 自己分析できる、自分に向き合ってい る→「自分は自分の一番の理解者であ る」と導くことができた。

理解者を深掘り

"理解者 = 自分"というワードを変化す ることのない普遍的なものとして捉え た。変わることがないという点に着目 し、万物の祖である元素記号で表す ことにした。

ふたつ感受性豊か

04

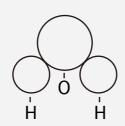
名字は変わるが、名前は変わらない という点から元素記号は名前で表すこ ととし、そこに感受性豊かから取った 喜怒哀楽を元素記号に落とし込め た。

それぞれの意味

喜怒哀楽を形に当てはめ、メイン人格 を楽とし、形は喜怒哀の形から取っ た。大きさは心を占める割合から、 色は感情から取った。形から派生さ せて全体は幾何学模様で表現した。







□ - A



迷走したからこそ生まれた

実は最初はこうだった制作秘話

1 キャッチコピーは 「わたしにとって わたしはわたしの 一番の理解者」 という長ったらしいものだった。

② 喜怒哀楽を表す形は

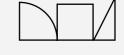
丸三角四角のような単純なものではなく、

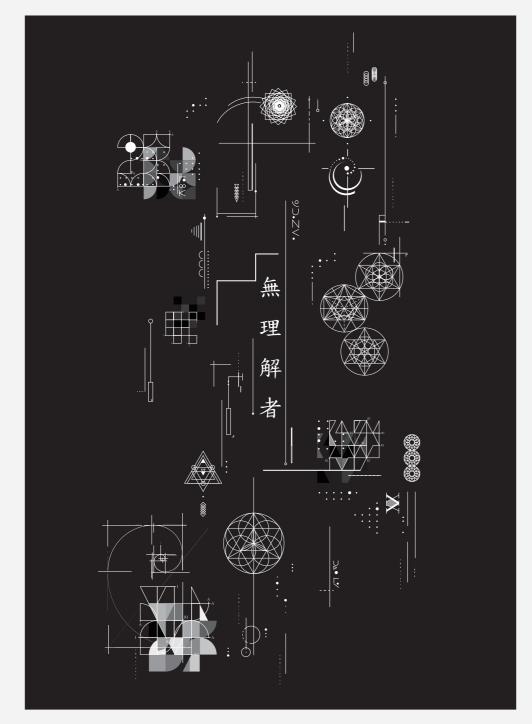
喜怒哀楽を形どった複雑な形だった。

わかりにくいから

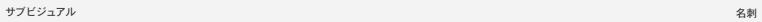
表にまとめたもの

	喜	怒	哀	楽
元素記号	Α	I	RI	AIRI
形			Δ	
色	桃	紅	藍	黄



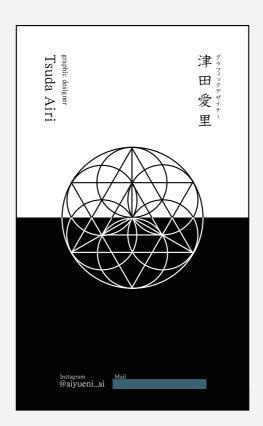




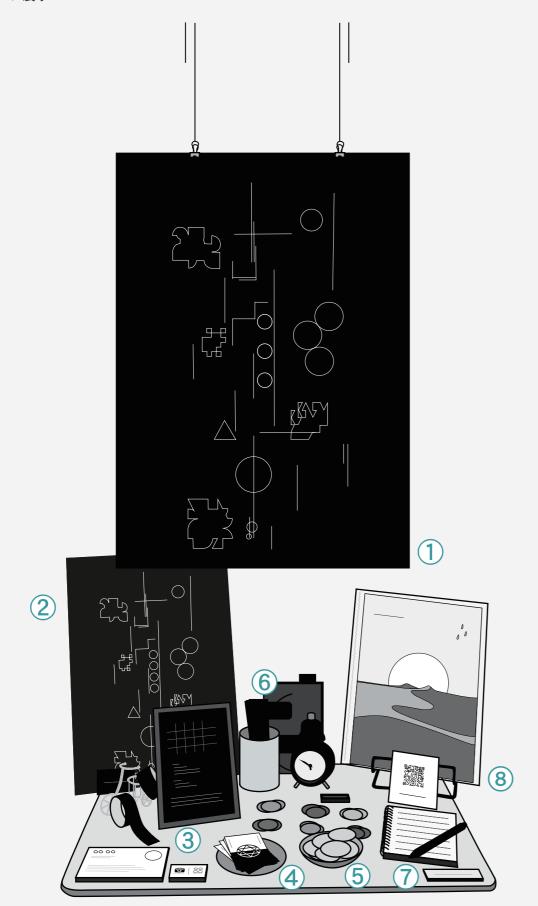


相反するビジュアル

「自分を理解していない」 つまり自分の気持ちがわからない。 だから、白黒で表現した。



真ん中にひとつだけ 幾何学模様を置き、色を上下に割ることで シンプルな美しさになるよう意識した。





① メインポスター



② サブポスター



③ コンセプトパネル



ネル ④ 名刺



⑤ ステッカー



⑥ しおり



⑦ ご感想ノート



⑧ ポートフォリオ

2024年 2月

大阪デザイナー・アカデミー進級展のようす。 各々が思い思いの装飾をする形式だった。 優秀作品に選ばれ現在も校内で展示されている。

Pen Drawing

WHAT DO YOU FEEL WHEN YOU SEE THIS

光

混沌とした世界で ビリケンさんの表情にだけ色を入れた。 黒ペン1本で描き上げました。

theme size ビリケンさんを含むこと 297×420



BILLIKEN CREATORS OSAKA 2024

2024/03/14-16の3日間、本町の田村駒ビルで開催されました。 また新たな試みから、現地投票に加えてオンライン投票も取り入れた。

STEP

制作期間

空はカケアミ技法の1カケ 山は立体感と遠近感を表せる曲線

画像提出

エポキシ塗装前なので 完全な白黒作品をデータにて提出

STEP

- ・公式サイト
- Instagram
- ・作品図録
- ・オンライン投票
- ・サントリーコラボ企画

最終調整

エポキシ樹脂での塗装 それから雰囲気に合う額装 STEP

当日

クリエイター同士の交流の場も また購入者のも恵まれた

| 制作の流れ



| 実際に使用したSNS発信素材





DATE.

2024.03.14 THU.

LOCATION.

TAMURAKOMA

Azuchimachi, Chuo-ku, Osaka

CONTENTS.

BILLIKEN CREATORS OSAKA 2024

MAR. 14th.

TAMURAKOMA

Airi Tsuda

THE LABEL CAN BE EASILY PEELED OFF AND USED AS A STICKER.LET'S KEEP THIS PRECIOUS MOMENT TODAY IN YOUR MEMORIES.





実際に販売されていた現物

ラベルシール

サントリーさん作

エポキシ樹脂をかける前のデータを 使っているので色味が完全な白黒に表情の金が 映えており、とてもいいラベルとなった。

麦茶とレモンスカッシュの2種類

Textile Design

DO YOU LIKE FANCY CLOTHES

佳作受賞

レインボー

ハワイで幸運の象徴として 愛される虹の鮮やかさを誰よりも強く、 誰よりも深く、誰よりも強烈に届けたい。

theme 元気でアクティブなハワイ



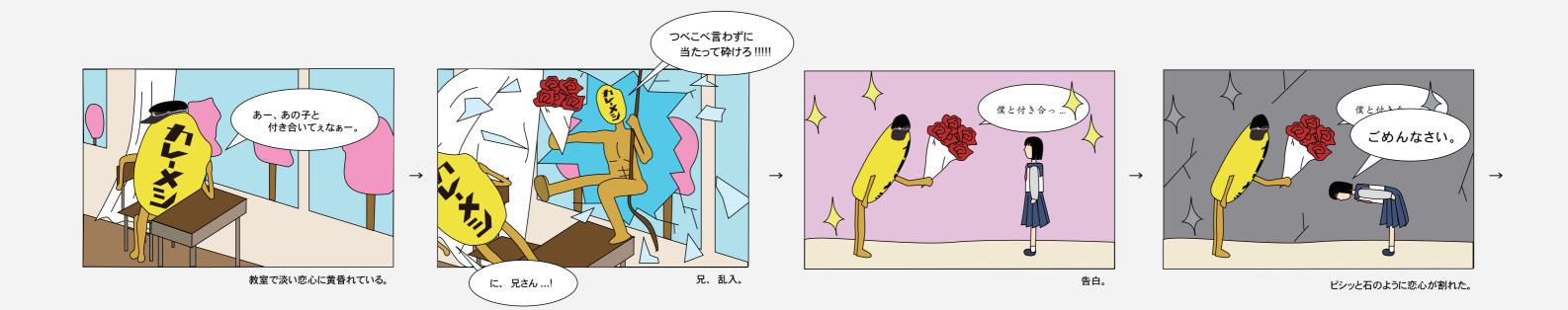
Package Design

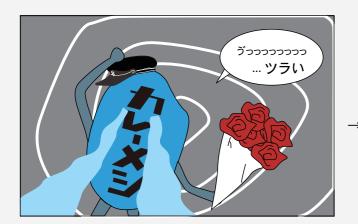
WHAT DO YOU LIKE MOST ABOUT NISSHIN

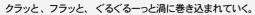
青いカレーメシ

春の卒業シーズン限定 青いのに辛い!? 甘辛カレーメシ 実際、あったら買いますか。



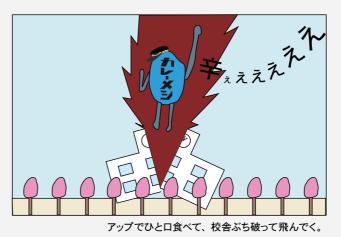




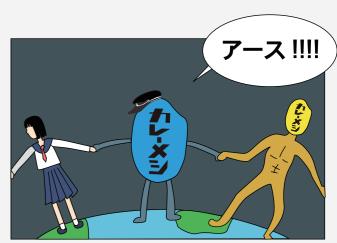




「辛いは辛い」の後に、大海原とナレーションがザバーンどーん。



でひと口食べて、校舎ふち破って飛んでく。 (カラいとツラいをかけてる)



訳:失恋も地球規模では些細なこと。



女のコのかわいいを詰め込んで

シンガーソングライターコレサワの レ子ちゃんというキャラクターをモチーフに制作した。 気になるフレーズはあったかな。



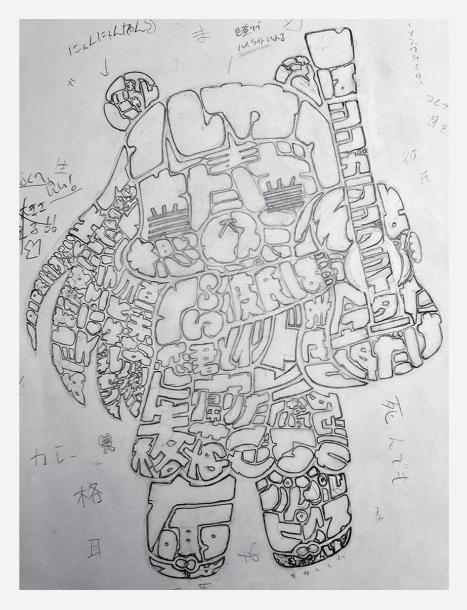




線画ビジュアル

相反するビジュアル

「塗りつぶしていては分からない」 だから、面ではなく線で表現した。 雰囲気はネオンを意識した。



ラフ

文字は曲名、歌詞、 またはコレサワに含まれる要素で構成した。



WHAT ELEMENTS ARE AROUND YOU

わたしのすべて

日常生活の要素たちを これでもか!というほど、詰め込んだ。 目の止まる場所があったらいいな。

genre

2023年 夏の自主制作



Poster Design

DO YOU KNOW WHAT THE ORANGE RIBBON MEANS

心の悲鳴をハンドサインに

たすけてって、言えない時どうする...? あえて直接的な表現は避けて制作した。 ストレートじゃないけど、ストレートな作品。

theme		size	
	啓発ポスター		515×728
	合光小人グー		313/120



ZZZOSOS

気づいてください、精いっぱいのSOS。



出産・子育でに関するご相談は、お住まいの市区町村窓口、または児童相談所へ

見童 相 談 所

相談専用

0120-189-783

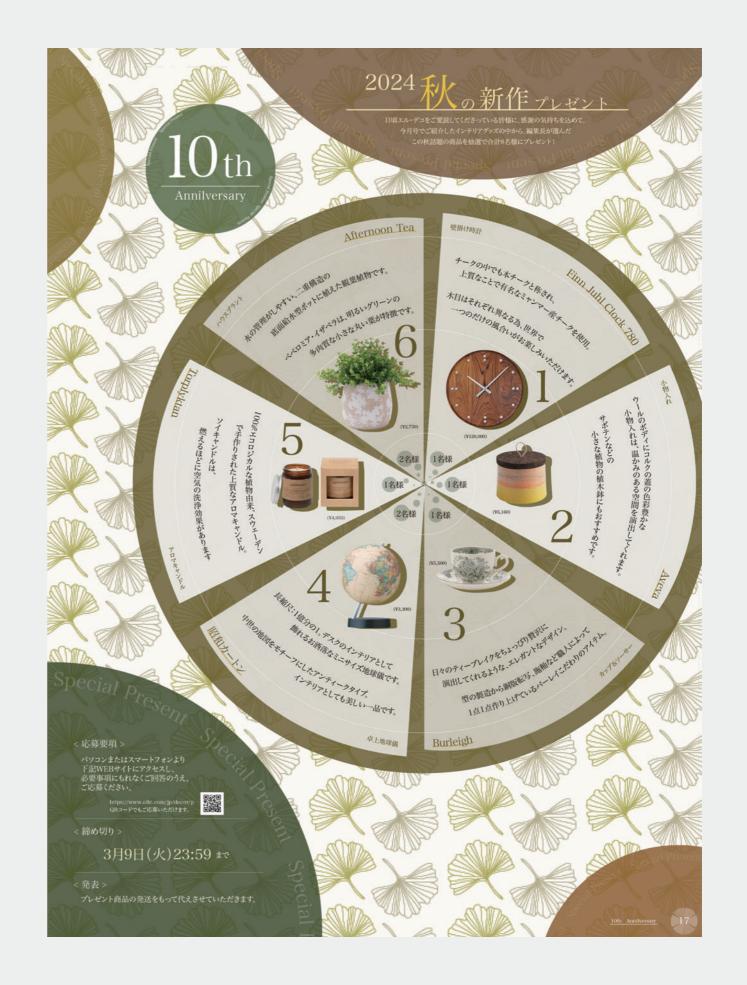


認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン運動事務局 後援: 内閣府、文部科学省、厚生労働省 他



風変わりな雑誌

アンティークな色味に 円のあしらい、文字も曲線に沿わせた。 目新しく、単調にならないよう意識した。



Rostocard Design

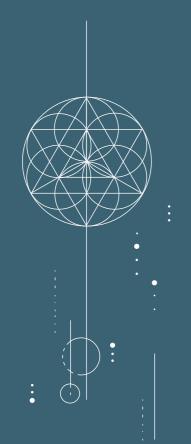
DO YOU USE NEW YEAR'S CARDS

豪華絢爛

特色印刷を背景全面に活かした。 椿を身に纏い、健康長寿を祈る龍を ダイレクトに勇ましく描いた。







最後までご覧いただき、ありがとうございました。